UNIVERSITY of HAWAI'I
MANOA

2019 年度明治大学法学部
ハワイ大学春期法学研修報告書

目次

１．教員あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ.２

２．ハワイ大学について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ.３

３．ワイキキ情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ.４

４．ハワイ観光ハイライト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ.５

５．レクチャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ.６～７

６．フィールドトリップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ.８～９

７．ハワイ大学の先生紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ.１０

８．ハワイでの生活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ.１１

９．スケジュール in Hawaii・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ.１２

１０．研修概要　/　編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ.１３

１．教員あいさつ

海外への架け橋

法学部長　村上　一博

法学部では、2013 年度からハワイ大学春期法学研修を実施しています。この研修では、ハワイ州唯一のロースクールである、ハワイ大学マノア校ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院において、英語で法律を学ぶほか、州内の法律事務所、裁判所および政府機関の見学や州法律家協会の行事に参加するなど、盛り沢山の充実した内容となっています。

ハワイは日系人が多いという特殊な土地柄であり、また観光地としても絶大な人気を誇る場所ですので、海外経験がないという方でも比較的大きな不安を抱えることなく生活ができます。また、とくに初めて海外留学する学生のために、事前のガイダンスや現地での通訳などのサポートが整っているので、英語力に不安のある学生も安心して参加できるプログラムです。

ぜひ、ハワイ大学春期法学研修に参加し、この研修で得られた経験をもとに国際的視野を広げ、海外への架け橋を築きましょう。

異文化理解を通じて日本を知る

法学部専任教授　佐々木　秀智

この報告書は、2019 年度に実施された米国ハワイ大学マノア校における短期法学研修プログラムに参加した学生が作成した報告書です。参加者自身の体験を基に作成されたものですので、これから海外留学プログラムへの参加を検討している方々にも参考になる情報が満載です。

ある国の現行法制度が形成された背景には、様々な文化的・歴史的要素があります。特に米国法では、「歴史的継続性」がその重要な特徴として挙げられます。また各法律で用いられる英語の言葉・言い回しにも文化的・歴史的背景があります。このプログラムでも、ハワイ州の法制度のみならず、同州の文化・歴史について多く学んだと思います。同州にも、長い歴史や豊かな文化があります。その中で様々な統治が行われ、現在の法制度が形成されたのです。

このことは日本も同じです。米国ハワイの法文化・歴史を学び日本と比較することで、日本の法文化・歴史の理解がさらに深まります。外国法の文化・歴史を学ぶことは、わが国の法制度・理論の理解にとってとても有益なことです。

今回のプログラム参加者の皆さんが、ハワイ大学での法学学習を通じた異文化理解の基礎訓練の中で習得した知識と経験を生かして、今後の法律専門科目の学習をさらに深め、自らの将来を切り開いていくことを願っています。

２．ハワイ大学について

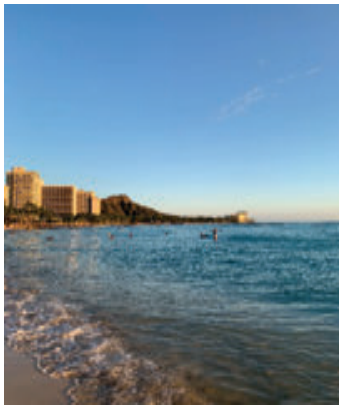
ハワイ大学は 10 個のキャンパスと教育施設を持ち、それらはハワイ諸島、カウアイ島、オアフ島、モロカイ島、ラナイ島、マウイ島、ハワイ島に所在します。今回のプログラムで通ったマノア校はオアフ島に所在しており、ハワイ大学の中でもメインのキャンパスです。

マノア校の敷地は広く、自然豊かです。日本風やタイの建物などがあり、様々な文化が混在するハワイならではだと思いました。

ゆったりとした時間と空間の中で学べるハワイ大学は素晴らしい環境です。

私たちはハワイ大学のウィリアム・S・リチャードソンスクールと呼ばれるロースクールで学びました。もともとこの法科大学院は独立した教育機関でしたが、ハワイ大学と合併しました。世界的にみても有名なロースクールです。

３．ワイキキ情報



１．ワイキキビーチ

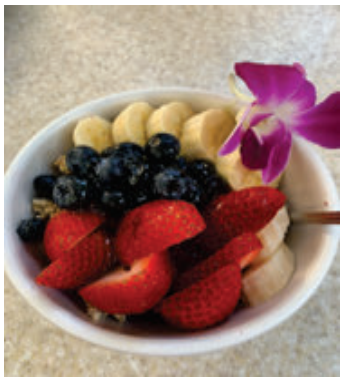
ワイキキビーチはハワイで最も賑わうビーチの一つです。どのホテルからも近いため、日本人観光客が多くいます。休みの日だけでなく、大学の講義後にも海に入ることができました。東側にはダイヤモンドヘッドを望むこともでき白い砂浜と青い海、空のコントラストは感動的です。

２．ダイヤモンドヘッド

ハワイを代表する観光地の一つのダイヤモンドヘッド。頂上からはワイキキビーチをはじめ、360 度の絶景を眺めることができます。早朝に登り、頂上から美しい日の出を見るのがおすすめです。

３．ハワイグルメ

ハワイの料理は、日本人の味覚に合うような、素材の味を生かしたものが多かったです。ロコモコやポキ、ハンバーガー、パンケーキなど、どれも美味しいものばかりでしたが、特に早起きをして食べたアサイーボウルは、甘みと酸味が絶妙でさっぱりしていて、朝食にぴったりでした。



４．ハワイ観光ハイライト

ハワイ観光の一番の目玉ともいえるのは、やはり美しい自然です。日本ではなかなか目にできないエメラルドグリーンの海に、白い砂浜、豊かな山々に囲まれた生活は、貴重な経験でした。有名なワイキキビーチは、ホテルから近く、放課後にみんなでビーチバレーなどを楽しみました。ビーチの背景に悠然とたたずむダイヤモンドヘッドも、ハワイ観光では外せない観光地です。ワイキキからはバスでアクセス可能、トレッキングコースは舗装路も多く、歩きやすい靴なら気軽に登ることが出来ます。研修中、ダイヤモンドヘッドからの日の出を見るべく、男性陣がホテルからランニングで挑んだりもしました。

ハワイには、ハナウマ湾やラニカイビーチなど、ワイキキビーチとはまた違う美しさを持つビーチが多くあります。中でもオアフ島の北西部のハレイワにあるラニアケアビーチは、タートルビーチとも呼ばれており、野生のウミガメに会うことが出来ます。のんびりと甲羅干しをするウミガメに心癒されました。また、ハレイワ地域では、ワイキキとは違うローカルな雰囲気を味わうことができました。

自然だけでなく、買い物や食事もハワイでは楽しむことが出来ます。ワイキキ中心部には多くのショッピングセンターが軒を連ねており、お土産の調達にもブランド品をお買い得に手に入れるにもぴったりです。中でもハワイ最大級のアラモアナショッピングセンターは、一日中楽しむことが出来る場所です。食事は、魚や米など日本人好みのものから、パンケーキなどハワイならではの食事も楽しむことが出来ました。ただ、量はやはりアメリカン、シェアするので十分でした。個人的には、アラモアナにあるヨーグルストーリーのウベ・パンケーキがハワイの食事 No.1 です。

もう一つ、ハワイ観光ハイライトとしてあげたいのが、パールハーバーです。華やかな観光地に心奪われがちですが、ハワイには、第二次世界大戦の発端の地があります。パールハーバーには 4 つ記念館があり、今回は、沈没した戦艦アリゾナの真上に建つ USS アリゾナ記念館と日本の降伏文書調印式の会場でもあった戦艦ミズーリ記念館に足を運びました。かつての敵国の地から歴史を学ぶという体験は深く印象に残っており、訪れてよかったなと思う場所でした。

５．レクチャー

・ <u>講義形式</u>

講義は基本英語で行われますが、各校の引率の先生が通訳や補足事項の説明を日本語で行いながら進めてくれるので、英語力に自信がない人でも十分に内容は理解できると思います。

また、講義の形式は先生によって様々ですが、明治大学で受ける大人数の授業とは違い、学生と先生の間で頻繁に会話のやり取りをしながら進められ、学生同士のディスカッションを求める先生も多いので、刺激的で実りのある時間が過ごせると思います。

講義の終わりには質疑応答の時間が設けられ、内容をより深めることができます。

・ **講義のスケジュール**

講義は1コマ90分で、1日に2から3コマあります。

通常の講義に加えて、キャンパスツアーや図書館ツアーも行われます。昼休みには、売店でハワイ大学のグッズを見たり大学構内を散策したりすることもできるので、無理なく過ごせるスケジュールとなっています。

・ **講義の内容**

前半の講義のテーマ

アメリカ法入門　日米比較法　アメリカ憲法　交渉学　図書館情報調査方法 ハワイ先住民の権利　刑法　国際刑事法　高齢者法

前半の講義は、専門的な法律分野というよりは、アメリカ法入門、アメリカ憲法といったアメリカの法律のアウトラインの部分に関するものが多いです。特に前半の講義の中で印象的だったものはMark A. Levin 先生 が担当している日米比較法です。この講義は、様々な視点から日本とアメリカの法整備の違いについて具体例を交えながら説明してくれるので、わかりやすく、とても印象的でした。また、交渉学では、実際に他大学の人とディベートを行ったりするので、能動的に講義内容を学ぶことができ、理解が深まります。

後半の講義のテーマ

日本における法と女性　　契約法 アジアにおける人権　　労働法　　環境法

環境法や契約法などに興味のある人は多いのではないでしょうか。日本における法と女性やアジアにおける人権などといった、単純に法律だけを学ぶのではなく、広い視野でとらえるような科目もあります。

・講義を受けてみて

ハワイ大学春期法学研修ということで、英語を使って法律を学ぶプログラムであり、英語を学ぶためのものではないため、英語力に不安があっても受けやすかったです。なぜなら、必要に応じて明大の先生方や他の大学の先生方が日本語で説明してくださるため、英語が難しいところでも内容の理解ができるからです。

2 週間という短い期間なので、多くの分野に触れるために、それぞれの授業は非常に短かったです。様々な分野で法律に触れることができるため、新しい課題などに気づくことができると思います。少しでも興味をひかれた分野ができたら、日本に帰ってから、さらに学ぶことが大事になると思いました。

私はこの研修を通じて、日本にいるだけでは学ぶことのできないことを多く学ぶことができたと思っています。

６．フィールドトリップ

１．State First Circuit Court

アメリカ合衆国の裁判所は連邦制であり、連邦裁判所と州裁判所の２つ採用しています。実際に前線の現場で活躍されている裁判官とお会いし、お話をお伺いしました。私たちの中には将来裁判官を志す人もいます。とても刺激的なお話で、勉強になりました。

２．State Capital

ハワイ州議会議事堂は、ホノルルにあるハワイの州議会の会議場です。ここでは、州知事にお会いする予定でしたが、コロナウイルスの影響でお会いすることができませんでした。しかし、副州知事が私たちを案内してくださり、質問に真摯に対応してくださいました。州議会の会議室は、普段は滅多に入ることができません。そこに入ってお話を聞けたことは私たちのとても良い経験となりました。

３．State Supreme Court & Federal District Court

フィールドトリップでは、先ほど説明した2種類の裁判所のどちらにも行きます。ここでは判事の方のお話をお伺いすることができます。現地の授業では、法曹界での女性差別についても勉強しますが、そのことについて実体験として聞くことができる、とても貴重な機会となりました。

４．Law Firm Tour: Goodsill Anderson

ハワイにある弁護士事務所です。事務所に所属する弁護士の方から、仕事内容や、弁護士になった経緯、実際になってみての感想などの実体験をお聞きしました。将来弁護士を目指す方には、とても参考になる良い経験になるでしょう。

７．ハワイ大学の先生紹介

研修ではハワイ大学の先生がそれぞれ講義を担当してくださいます。研修を支えてくださる先生方を紹介していきます。

・Spencer Kimura　先生

Spencer 先生はこの研修で最初から最後までお世話になる先生です。ハワイ大学のキャンパスツアーを行ったり、各講義の先生を紹介したりしてくれます。フィールドトリップの際には同行し、それぞれの場所の案内をしてくださいました。事務連絡等も Spencer 先生が担当してくださっていました。

日本語も堪能で様々な場面でサポートしてくれます。Spencer 先生はハワイ大学法科大学院のご出身で、図書館ツアーでは先生の昔の写真を見ることができます。

・Mark Levin　先生

Levin 先生は Comparative Japanese & U.S. Law(日米法比較)　と Women In Law In Japan (日本の法教育における男女平等について)の講義を担当してくださいました。

Levin　先生も日本語が堪能で、日本語を交えながらの講義はとても分かりやすかったです。

・John Barkai　先生

Negotiations (交渉学)の講義を担当してくださいました。
Barkai 先生の講義では、他大学の生徒と交渉に関するペアワークを行います。また、初めにちょっとした手品を見せてくださるなど楽しい授業をしてくださいます。

紹介しきれませんでしたが、他にも各講義を担当してくださる先生方がいらっしゃるので、参加する際はそれぞれの講義を楽しんでください！

８．ハワイでの生活

１．宿泊施設

今年度のハワイ大学法学研修の宿泊施設は、ワイキキサンドヴィラホテルでした。メンバー全員が同じホテルに泊まるので、困ったことがあった時は、すぐにフォローしあうことができました。ルームメイトとは２週間の間、常に一緒に行動するので安心ですし、絆が生まれます。ホテルには、プールやジム、足湯が併設されており、自由に使うことができます。また、タオルの無料貸し出し、コインランドリーと乾燥機の完備がしっかりなされています。ハワイでは25￠硬貨をよく使うのですが、ホテルには両替機もついているので、問題なく生活できます。何かあった時でも、ホテルには日本語が話せるスタッフの方がいるので安心です。

２．食事

ハワイには、ハワイならではの料理など、たくさんの美味しいものがありました。アメリカンサイズの大きなハンバーガーやチキン、ポキ、パンケーキなどは、とても美味しく、おすすめです。私たちがハワイでどのように食事をとっていたのかを紹介します。朝食はホテルの近くにあるABCストアでバナナを購入したり、セブンイレブンでサンドウィッチを購入したりしていました。ハワイは物価が高いので、昼食や夕食に美味しいものを食べるために、朝食を節約している人が多かったです。昼食は授業がある日は、ハワイ大学内の食堂で食べたり、大学近くのお店まで歩いて食べたりしていました。夕食は、各自でお店を調べて、行きたいお店に足を運んでみたり、先生も一緒に全員で集まって食事会を開いたりすることもありました。

３．交通手段

ハワイでの主な交通手段は「The Bus」です。＄5.5をバスに乗るときに支払えば、ワンデーパスを購入することができます。片道は＄2.75です。大学への通学や島内の観光地にどこへでも行くことができるので、とても便利で、ほぼ毎日利用していました。日本と同じように、アプリでバスの番号を調べて時刻表を見て行動していました。しかし、日本と違うところは、予定通りにバスが来ないことです。時刻表通りにバス停に行っても、バスが来なかったり、突然そのバスがスキップされたりしてしまうことがあります。実際に観光地に行って、帰りのバスが全く来ず、30分以上待ったこともあったので、気を長く持ち、時間に余裕をもって行動することが大切です。また、バス停がすごくわかりにくい場所にあり迷ってしまうこともあります。不便なところもありますが、ほぼ毎日利用するので生活していくうちに徐々に慣れていくと思います。

９．スケジュール in Hawaii

〈平日のスケジュール〉
6:30 起床、ベランダで優雅に朝ご飯　7:30 最寄りのバス停から大学へ(The bus の一日乗車券購入)
9:00-15:00 講義(一コマ 90 分、昼ご飯は構内のカフェや用意されたものを食べる)　15:30 Free(ワイキキビーチで泳いだり動物園に行ったり夕陽を見たり)

〈休日のスケジュール〉
各々の個性が出る休日の過ごし方。私はとにかくアクティブな毎日を送った。
Feb.29　6:30 起床　8:30 にバスに乗り　10:00 ハナウマ湾へ　フィンやシュノーケルは借りることをオススメする。色とりどりの魚たちが優雅に泳ぐ海を堪能できる。15:00 ウォルマートやアラモアナショッピングセンターで買い物　19:00 ルルズハワイでハンバーガーを食べる、その後ホテルに完備されているトレーニングルームで筋トレ、入浴を済ませ　24:00 頃就寝
March.1　8:00 起床　12:00 バスを乗り継ぎ高速に乗り世界最大級のウォーターパーク、Wet'n'Wild に到着　12:00-16:00 高さ 6m 傾斜 60 度の恐怖のウォータースライダーや波のプール、螺旋構造の滑り台の上をハイスピードで転がり落ちていくトルネードなどではしゃぎまくった。ハワイで一番楽しかった。この時期なら待ち時間もなく思いきり遊べるのではないだろうか。19:00 ヒルトンホテルでタコスとポテトを食べた。あまりにも量が多かったので持ち帰って朝ご飯にした。ルーティンをこなし 23:30 就寝

〈フィールドトリップの日のスケジュール〉
体験型の Negotiation やマジックを切り口として展開される授業など、興味深い座学が沢山あったが、この研修ならではの、連邦裁判所や州会議事堂、最高裁判所といった普通の旅行ではまず足を踏み入れられない所を訪れることができた日のスケジュールも紹介したい。
9:30　現地集合、厳重なセキリュティチェックを行い、実際の裁判の見学や現役女性検察官の貴重なお話を伺う。13:00 州会議事堂の中を見学。実際に州知事が会見で使用する部屋で見学、記念撮影。貴重な体験を沢山できた。

〈最終日のスケジュール〉
4:30 起床　6:20 バスに乗りダイヤモンドヘッド入り口へ　7:00 頂上につく。朝日が水面に映り綺麗だった。8:30 麓の cafe Morey's でアサイーボウルを食べる。最高の朝のスタート。10:00 バスに乗りノースショアの飛行場へ　12:00　上空 4300m から人生初のスカイダイビング 落ちている最中は生きた心地がしなかった。街や海がミニチュアの模型に見えた。強い圧力で脚がもげそうになった。地上に降りた後は物凄い疲労感に襲われた。＋αで 25 ドルもチップを払わなければならないが、それを含めても日本より安くできるので、人との密着が苦でなければ一度体験してみることをオススメする。その後、最終日なので cheesecake factory で先生を含め全員で食事。水田先生が非常に優しかった。ケーキがとんでもない量だった。そんなこんなで研修を終えた。

１０．研修概要／編集後記

＜研修概要＞

〇期間

2020 年 2 月 22 日～3 月 8 日

〇研修校

ハワイ大学マノア校ウィリアム・S・リチャードソン法科大学院

〇滞在先

ワイキキサンドヴィラホテル ／　2 名 1 室食事なし

〇参加人数

12 名（全員学部生）　5 大学合わせて 50 名ほど

〇研修費用

約 43 万円　法学部から全員に 8 万円の助成金あり

〇単位認定

翌年度春学期に法学部設置科目「Legal Studies Abroad CⅠ」として 2 単位

※レポート提出・事前学習参加必須

〇応募資格

・本学の在校生で、法学研修の授業に参加し得る英語力を有すること（対象レベル：初級）

・募集要項や誓約書の内容に合意していること

＜編集後記＞

最後までこの冊子を読んでくださりありがとうございます。本研修は初めて海外留学する人はもちろん、以前留学をしたことがある人でも新たな発見と経験が得られる充実したプログラムとなっていると思います。このページの筆者はケンブリッジ大学法学研修を前年の夏に行って、今回、ハワイ大学法学研修に参加した稀な人ですが、去年行っておくべきだったと思う気持ちと 2 年間法律を学んでから留学したからこそ収穫が大きかったという気持ちの両方があります。この研修では他大学も含め、優秀な先生、学生との交流がたくさんできると思います。なかなか他大学との合同の留学プログラムというのはないと思うので、これから参加するみなさんもぜひ生かしてほしいです。これを読んでくれた人たちが、この研修に少しでも興味を持ってくれたらうれしいです。

M.I

P.S コロナの影響を本当にぎりぎり受けずに、最後まで通常の留学生活を送ることができました。情勢はいつどうなるかわからないという事も含めて、行ける時に行くことをおすすめします！

Memories in Hawaii

発行：明治大学法学部

www.meiji.ac.jp/hogaku/hawaii/